

馬伝染性貧血定期検査 が始まります



今年も馬伝染性貧血定期検査の時期がやってきました。詳しい日時については、市町村から通知が届きますが、1月中旬～3月中旬での実施を予定しております。

ご協力よろしく願いいたします。

<検査料及び証明料>

1頭あたり1440円(検査料1200円+証明料240円)



馬伝染性貧血とは・・・？

<感染経路>

吸血昆虫の媒介が主な感染経路

胎盤感染、初乳を介しての垂直感染

非滅菌手術用具・汚染注射器による人為的な感染

<症状>

高熱と貧血を特徴とする。感染馬の多くは7～21日間の潜伏期の後、41～42℃の高熱を発する。

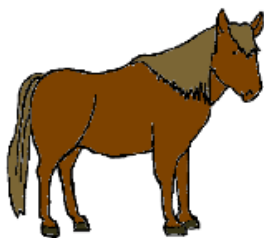
急性型 : 高熱が数日～10日間持続し、約80%が死亡

亜急性型 : 発熱の繰り返しにより死亡

慢性型 : 繰り返される発熱が徐々に軽度となり、健康馬と区別できなくなる

<近年の国内発生>

平成23年3月	宮崎県	1頭(在来野生馬群より導入)
平成23年4月	福岡県	1頭(在来野生馬群より導入)
平成23年5月	宮崎県	12頭(野生馬)



山梨県西部家畜保健衛生所

韮崎市本町3丁目5-24

TEL:0551-22-0771 FAX:0551-22-6728